

コミュニティ

ふっ

私と人とまちの間に

2020.DEC
126号 12

編集発行

公益財団法人 草津市コミュニティ事業団

もくじ CONTENTS

FEATURE

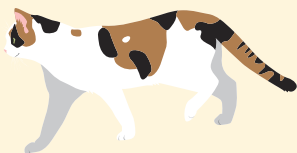
若者よ、未来をひらけ。

- 2 にゃんこまもる高校生たち 高校生ボランティア団体「にゃんこおたすけ隊」
- 4 世界に一つだけ、私の石けん。～渋川小 地域連携総合学習～
- 6 明日は自分たちで創る、山田の挑戦 山田の未来をつくる100人若手ワークショップ
- 8 ご近所まんが くさつがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～
- 9 より道こ道 南草津駅～木瓜原遺跡へ
- 10 事業団からのお知らせ／まち語り 一枚の写真
- 11 見つけてスッキリ!
- 12 熊谷栄三郎の徒然草津 第38回 日本語、まだ通じていますか
ボイス

所作ひとつ

集中。先生の動きを見ては真似る、見ては真似る。「もつと首を傾げる。目線は上」。先生の指導に頭も体もフル回転。所作ひとつ、佇まいひとつまで神経を張りつめます。最後は三つ指をつけて挨拶。礼に始まり礼に終わる稽古です。
(日本舞踊・音羽菊女治会)

センリョウとマンリョウ。名前のめでたさもあって、お正月の縁起物としてよく飾られます。姿形だけでなく実をつける時季までよく似ていますが、葉の上に実をつけるのがセンリョウ、下にならマンリョウです。ちなみにジユウリョウ、イチリョウというのもあります。単位が大きくなるほどたくさん実をつけるのも面白いですね。良いお正月を。



長引く新型コロナウイルスの影響で様々な催しが延期や中止を余儀なくされています。いつまで続くのか。先が見えず、人もまちもイマイチ元気が出てきませんね。

そんな中、未来に希望をもってチャレンジする若者や子どもたちがいます。人とまちの未来をちょっと良くするために、今、自分ができることは何なのか。今回はそんな若者のチャレンジです。

若者よ、未来をひらけ。



FEATURE

にゃんこまもる高校生たち

高校生ボランティア団体「にゃんこおたすけ隊」

代表 鎌田優花さん(国際情報高)
副代表 酒井理沙さん(国際情報高)

学校の行き帰りに見つけた捨て猫に内緒でエサをあげる。子どものころ、そんな経験をした人も少なくないのでは。そう言えは、あのにゃんこ、あれからどこへ行ってしまったんだろう。まちには野良猫や飼いきれなくなつて捨てられた猫がたくさんいます。そんな猫たちと人が共に生きていく社会に向けて、チャレンジする高校生たちがいます。

知らなかった言葉

代表の鎌田優花さんには忘れられない思い出があります。今から2年前、近くの駐車場で野良猫を見つけました。愛くるしくて、どこか可哀そうで…。そこはまだ中学生、無邪気にエサをあげていたとか。そんなとき駐車場のおばさんに注意を受けました。この猫はこれからどうなるのか尋ねた時、初めて「殺処分」という言葉を知ったのです。ショックでした。

なんとか救いたい優花さんは自分で色々調べ始めました。県の動物保護センターを見学、研修会にも参加し、飼い主のいない犬や猫たちの置かれた実態やそれらを救おうとする活動を知りました。そうして、飼い主がなく、やがて殺処分されてしまう猫たちを

救おうと、高校生7人で「にゃんこおたすけ隊」を立ち上げたのです。

一日中の見張り

おたすけ隊の目標は、人間の身勝手な行動によつて処分されてしまう猫や犬を1匹でも多く救い、新しい家族のもとで一生暮らせるように手助けすることです。それが殺処分をゼロへとつなげられる道だと思つたから。猫は繁殖力の強い動物で放つておくとどんどん増えます。殺処分される野良猫を増やさないためにも避妊・去勢手術を施す必要があります。

もちろん手術には手術代がかかります。どうぶつ基金に毎月申請し、抽選で認められた匹数分だけ野良猫を捕獲して獣医さんに連れていきます。



捕獲の時には、猫を傷つけないよう改良した捕獲器を置いて、他の野生動物が入つたり、捕獲器が盗まれないよう、一日中見張っているとか。

「基金の他にも募金箱をつくつて、あちこちのお店を回つては置いてもらっています。滋賀県は手術代が高いので、安価でしてもらえる遠方まで連れていきませぬ。大人のボランティアさんや家族の協力なくしてはできない活動なんです」
何度も言いますが、彼女たちはまだ高校生。脱帽です。

良い人に出会って欲しい

子猫の飼い主を見つげるための譲渡会にもお邪魔しました。ペットサロンの協力を得て、閉店後の店舗が会場です。案内の看板、受付など何から何まで制服

姿の高校生たちが走り回っています。今日、里親さんとの出会いを待つのは14匹のにゃんこ。ケーにはその仔の情報が丁寧に書きこまれた手書きのポスター。一匹いつびき、書き方が違うのは、里親さんと出会つたまでの仔たちを預かり育ててきた彼女たちがそれぞれに書いたから。「この仔を良い人に引き取ってもらいたい」彼女たちの切なる思いが伝わります。



酒井理沙さん

鎌田優花さん





まさに生命と向き合う活動。高校生には少し荷が重いようにも感じます。

生命と向き合う

ペットショップに貼られたチラシやSNSで譲渡会を知ったお客さんたちが次々とやってきました。「この仔たちがもう二度と捨てられないようにしないといけません。だから里親の申し出をしてくれた人であっても、メンバー全員が合意しないと引き渡さないルールにしています。飼ってもらおう際の条件を守り、飼って約束してもらい、本当にこの仔たちを守ってもらえる環境にあるか、ご自宅にも訪問させてもらっています」

「飼い主のいない動物たちの置かれる状況は本当に厳しいんです。この現状を私たちのような若い世代にも知ってもらい、できることから行動してもらえたら」

「また、多頭飼育崩壊」として野良猫を拾ってきたのは最後に飼いきれなくなった人だって、最初は純粹に猫を助けた気持ちから。ただ、知識や環境が不十分だったり、正しい情報が伝わっていないだけです。それを他人から「無責任に…」と頭ごなしに言われるより、私たち高校生から「一緒に考えましょう」と言われた方が次に進める人だっています。大人には大人の、高校生には高校生のできることがあると思っています。今しかできないことをしていきたい」



▲手づくりの募金箱

活動の様子は、えふえむ草津草津市コミュニティ事業団提供「くさつ☆コミュニ Tea Time!」オンデマンド放送でもお聞きいただけます。



取材中、彼女たちの言葉に息をのみました。「ペットとして飼う、捨てる、去勢手術をするのだって、猫からすればどれも人間の勝手なんですよね。猫たちは本能に従って一生懸命に生きているだけ。それでも人間と猫は共に生きていけると思うんです。そのためには私たち人間が自分のできることで行動を始めるしかないと思います」

近所で犬や猫を散歩させる人をよく見かけます。彼女たちは、大きな犬に引つ張られ息を切らす高齢者を見つけると「手伝わせてください」と声をかけるのだとか。ペットを大切な家族として暮らす人はこれからどんどん増えるのでしょうか。人と動物が共生できる社会に向けて、私たち大人にもできることがまだまだありそうです。

世界に一つだけ、私の石けん。

滋賀の農産物のオリジナル石けんづくり

中村大輔さん(渋川小教諭)

～渋川小 地域連携総合学習～

杉江香代子さん(Seisui かよこの石けん)



新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、マスクの着用も新しい生活様式になりつつあります。でも、新型コロナであれインフルエンザであれ、感染防止の基本はマメな手洗いとうがいですね。そんな手洗いに欠かせない石けん。その石けんを自分たちでつくってみようという授業が渋川小学校で行われています。原料となる油搾りから始める「世界に一つだけの石けん」と聞けばもう、興味津々です。

秋のヒマワリ

残暑が残る9月中旬。不動浜(山田学区)の休耕田に渋川小の6年生たちがやってきました。

この夏、ここで多くの人の目を楽しませてくれたヒマワリたちは自分の役目を終えたかのように、枯れて頭を垂れています。そう、子どもたちは石けんづくりに必要な油を搾るため、ヒマワリの種を取りに来たのです。

このヒマワリを大切に育ててくれた「不動浜ふるさと環境を守る会」や地元の方々の指導のもと、自分の背丈よりも高いヒマワリの頭部(頭花)をハサミで切っていきます。台風の影響や鳥に先を越されたりして、種の詰まり具合が寂しいものもありますが、自分の顔よりも大きな頭花に子どもたちは大盛り上がり。

苦労の先

「渋川小の6年生はこれまで、滋賀県が世界農業遺産を目指していることに併せて、滋賀の郷土料理や農業について体験しながら学んできました。新型コロナ

ナが世界的な感染拡大をみせる中、子どもたち自身がこれまでの学習を通して考えたのが、今回の石けんづくりです」と中村先生。

でも、なぜヒマワリ？

「実はこの学年は3年生の時の授業で、ヒマワリから油が取れることを知りました。その時は搾る機械がなくて残念な思いをしていました。子どもたちにとっては念願のひまわり油なんです」なるほど。

種の次は油を搾る道具が必要です。江戸時代式の搾り機が甲賀市に残っていることを知り、トラックで学校まで運んで宮大工さんの指導で組み立てました。いざ搾ってみると油は出てきません。それでも子どもたちは簡単にはあきらめません。なにせ念願のひまわり油です。

「どうすればヒマワリの油が搾れるのか」を調べ、菜種油を生産している東近江市の施設から手動の搾り機を借りてきました。これまた、子どもの力では油は出ず、先生たちをしても数滴落ちる程度。これではとても石けんはつくれません。

最後は滋賀県立大学の電動搾り機でようやく油を搾ることができました。ところが、8時間もかけて搾った油は真っ黒で、やっぱりこのままでは使えない。油の精製が必要だったのです。県立大学の先生に精製方法を教わりました。

こうしてできた油は、5kgもあつた種からわずか500ml。それでも琥珀色のきれいな油を見たとき、子どもたちからは歓声と拍手が湧き起りました。その苦労を知っているからこそ、その歓声。

もう、子どもたちのワクワクが止まりません。

*世界農業遺産…

世界的に重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域(農林水産業システム)を、国際連合食糧農業機関(FAO)が認定する制度。現在(令和2年6月)世界で22ヶ国62地域、日本では11地域が認定。滋賀県の伝統的な琵琶湖漁業、魚のゆりかご水田など琵琶湖と共生してきた農林水産業が「琵琶湖システム」として日本農業遺産として認定され、世界農業遺産の候補となっています。

杉江香代子さん



私の石けん

いよいよ石けんをつくります。ボウルにピーカー、薬品のビン、泡だて器、温度計：理科の実験が調理実習か、といった光景。

石けんづくりの指導は杉江香代子さんです。石けんは例のひまわり油を含む数種類の油、水、水酸化ナトリウム、香料などを配合して作ります。

まず、温めたオイルに水酸化ナトリウムと水を入れ水溶液を作ります。この作業は化学反応で高温となるので、杉江さんや先生で行い、子どもたちは別室からモニター映像で見守ります。

どで保温しながら1か月も経つと、子どもたちの世界に「ただけの石けんができてあがります。」

杉江さんは言います。「自分たちで調べたり探したりして、失敗してもそこから学ぼうとする子どもたちのパワーに心打たれました。私もちゃんと伝えなければと気が引き締まります。石けんができた時の子どもたちの歓声や反応を見て、この授業

に関わられて本当に良かったと思えました。子どもたちは家でもこの授業の話をしてくれているみたいで嬉しいですね。これでおしまいでなく、学んでくれたことを覚えていて欲しいし、どこかで活かして欲しいですね」

水溶液の温度

が下がってくるのを見計らって、ひまわり油や香料などを入れ、子どもたちが順番にひたすらかきまぜます。上手く混ざるかどうかはこの作業にかかっているの、子どもたちも一生懸命に泡だて器を回します。

まだ、トロっとした液体のままの石けんを牛乳パックに流し入れました。あとは毛布な



できあがった石けんを前に、子どもたちはこれまでの体験やサポートしてくれた大人たちとの交流を振り返りながら、オリジナル石けんのアピールポイントを考えていました。

実は11月に三重県への修学旅行で、この石けんをお土産に滋賀の農業遺産をPRし、逆に三重県の農業遺産を学ぶのだとか。郷土に学び、郷土に誇りを持つ授業。何よりコロナ禍でも目を輝かせ学ぶ子どもたちの姿が印象的。

大人になった君たちに早く会いたい。



中村大輔さん



活動の様子は、えふえむ草津
草津市コミュニティ事業団提供
「くさつ☆コミュニ Tea Time!」
オンデマンド放送でも
お聞きいただけます。



明日は自分たちで創る、山田の挑戦

山田の未来をつくる100人若手ワークショップ

小林久美子さん(北山田町)
 榎根裕子さん(三ツ池町)
 清水元樹さん(山田町)
 笹島千恵さん(木川町)
 コリア・ニコラスさん(南山田町)

イメージ



ムムツ、最近なにかと耳にする元気なまちがあります。それは山田学区。一部で都市化が進むものの、全体としては人口減少と少子高齢化が市内の中でも進んでいるまちです。こういふと少し寂しい気持ちにもなりますが、ところがどういふ。今、若い人たちの色々なチャレンジが始まっています。「山田の未来をつくる100人若手ワークショップ」に参加する地元の若い皆さんに集まってもらい、地元への思いを聞きました。

若手の意見

この会は地元と市で進めていた「地域再生計画」づくりから生まれました。若い人たちが働き世代はなかなか意見を言う機会も時間も無い。

そこで、「若い人たちが普段、山田に感じていることを言い合いたい」という試みです。若者が気軽に意見を出せるよう、なんと60歳以上は入会できないという徹底ぶり。

目標の100人にはまだ届きませんが、現在、山田学区内外の若者56名が●草津川跡地●山田の空●山田の野菜●まめバス●ピワイチ●北山田漁港の6つのチームに分かれて、山田の「コト」や「モノ」を活かすプロジェクトにチャレンジしています。

生まれも育ちも山田という小林さんは「これまで職場と家の往復ばかりで、地元気軽に話せる人がいませんでした。今、山田に暮らす若い人たちが、どんなこ

とを思っているのか知りたくて」と参加した理由を話します。

山田に魅力を感じて引越してきた笹島さんは「土地が広くて山田の伸び伸びとした感じが気に入りました。自然いっぱいこのなら子育ても存分にできるかなって。これからは住み続けたい山田になるよう何かできないかと参加しました」なるほど。

夢の山田カレー

榎根さんは山田の野菜チーム。「食べることが好き。山田の野菜ってホントに美味しいんです。もつと知って欲しいし、工夫もしたい。夢は山田の野菜をふんだんに使った山田カレーです。レトルトにできれば災害時の備蓄品にもなるし、イベントで広く知ってもらえるかも。山田のまちなかに新しくなったら、山田野菜の青空レストランも開きたいですね」

同じチームの笹島さんは「山田の農家さんやビルハウスを訪ねる機会がありました。高齢の人たちが多いのかなと思っていた

けど、意外に若い人たちも多くて、ママが手伝っていたり、三世代家族みんなで農業されている方もいて驚きました」

できるかも

草津川跡地チームの小林さんは「私が子どもの頃の山田って、そろばんも書道も近くで習っていたけど、今は子どもたちを駅近くまで送迎しないと習い事にも行けない。地元のおじいちゃんや将棋を教えてくれたり、そんな感じで草津川の跡地が、教え合い学び合い語り合いの場所になったらいいなって、皆で話しています。ちょっとした趣味で教え合えるつながりをつくれたら」と教えてくれました。

清水さんは「ピワイチ」チーム。「サイクリスト向けにマップを作ってai彩ひろばまでお客さんを呼び込みたい。自転車載せられるバスとかバス停の名前を考えてみたり、トライアルイベントを開催するなどアイデアが集まってきています」



ニコラスさんは山田在住のイギリス人。「北山田漁港チームです。漁港を初めてみたとき、正直もったいないなと感じました。ウォータースポーツやキャンプなど漁港を多目的なスペースにする色々な可能性がありそ



*ピワイチ…びわ湖一周サイクリング

笹島千恵さん▶



◀清水元樹さん

小林久美子さん▶



▲榎根裕子さん



▲コリア・ニコラスさん

「参加後は私も友人の顔を思い浮かべては、あの人はあれができそう、これができそう、なんて役割を考えるようになりました。何かできる人つて、もつともつとたくさんいると思う」と榎根さん。

「みんな、ひよつとしたらできるかもと思って話してますね。お金のことや、できるできない、という話はヨコに置いて、まずはとにかくアイデアを出してみる」と笹島さん。

夢は広がり、つながります。「みんな、ひよつとしたらできるかもと思って話してますね。お金のことや、できるできない、という話はヨコに置いて、まずはとにかくアイデアを出してみる」と笹島さん。

私たち世代の宿題

小林さんが続けます。「チームは分かれていても、どのアイデアも絡まってくるのを感じます。一人だとあきらめることばかりだけど、皆となら実現できそうに思えるから勇気が湧きます」

山田の未来について聞きました。「若い人が入ってきにくい状況をなんとかしたい。働く世代のためのアイデアや魅力がもつともつと必要」とニコラスさん。

小林さんは「新しいものを排除するのではなく、今のつながりを伸しつづ新しいうつながりを作りたい。ワクワクできる楽しいことで未来への種をつくりたいです」

清水さんは雇用注目しています。「10〜30年後の山田で雇用も生まれるよう、作物も人も地産地消にしたいですね。通勤に時間をかけなくても、地元で無理なく仕事ができたら」

「学区外の人にもつと山田を知ってもらいたいです」とは笹島さん。「ここでしかできない食や体験を通して若い人に山田の魅力が伝われば、私のように将来、山田に住みたい」と思ってくれる人が増えるんじゃないかな」

最後に榎根さん。「今、私たちの世代がしていることを次の世代に見てほしい。10年後のことを考えるのは私たち世代の宿題。次の世代が、あの人がた何や

会が始まろうとするタイミングで世の中はコロナ禍に。最初の顔合わせもリモートとなりましたが、そこはさすがに若手。むしろ楽しむように自分たちの好きな場所から山田の未来を語り合いました。

また、SNSを活用した「山田の空フォトコンテスト」や「オンライン交流会」など、今できることを楽

しむことや、これまで地域に関わりにくかった働き世代も積極的に意見を言っている姿が何とも頼もしい限りです。

もう一つ、これらの働き世代のチャレンジをサポートする地元高齢者のグループが山田に生まれていること自体、新しいチャレンジかもしれません。

老いも若きも思っていることを言い合えるまち。まずはやってみようチャレンジできるまち。うまくいったらみんなで喜び、ダメなら次なる挑戦の糧とする。次はどんなチャレンジが始まるのか、山田から目が離せません。

ら面白そうなことをしている、と感じてくれれば若い人もいずれ山田に帰ってきてきてもらえると思っています」



イメージ

▲11月開催のSNSフォトコンテストでは多くの「山田の空」があつまりました



イメージ

くさつがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～

かれこれ40年の「ふれあいタウン」。
どこにでもあるようなこの町で、今日も繰り返される
今ドキご近所のちょっとこなれた毎日。
楽しくも少し考えてしまう。
もしかして…これって、みんなの問題かも。



にゃんこ

最近、大切な家族の一員として犬や猫を飼う人が多い一方で、飼いきれなくなって捨ててしまう人もいます。捨てられた犬や猫の多くはやがて野良犬・野良猫となります。

特に猫は繁殖力が強い動物で、やがて「近所で野良猫が増えて困っている」「敷地内に猫が入って花壇を踏み荒らす」「公園に猫が群れて、砂場にフンをする」「夜中の猫の鳴き声がうるさい」といったトラブルを地域で引き起こすケースがあります。

まちには猫が苦手な人も実際に迷惑を被る人もいます。当然、駆除を求める声も出てきます。ただし、犬の場合なら「狂犬病予防法」に基づいた対処ができますが、猫の場合は法律がありません。つまり、役所は苦情を聞いても駆除を目的とした捕獲や引き取りはできません。

この野良猫問題に即効性のある対処法はありませんが、これ以上増やさず、ゆるやかに野良猫を減らしていく方法の一つにTNR*があります。捕獲して去勢・不妊手術を施して元のナワバリに戻すというもの。ただし、これには行政や専門機関との連携(資金支援も含む)、なにより地域の皆さんの理解と協力が不可欠です。つまり、地域の問題として受けとめ、猫を適正に管理しながら見守り、飼い主のいないネコをなくしていくとする取組です。

また、そもそも野良猫を増やさないことも大切。猫は字を読めませんが、飼い主さんや野良猫にエサを与えている人となら一緒に対策を考えることはできます。動物が好きな人も苦手な人も、そして動物たちも共に生きられる社会をめざして、地域でできることを考えていきたいですね。

これってやっぱり、みんなの問題。

* TNR…Trap Neuter Return (Release)



さく・com-com / え・まんじゅう

読売新聞

今こそ新聞を読む

読売センター草津西 / 有限会社 雄

〒525-0029 滋賀県草津市下笠町 1306-2 TEL:077-568-1165 FAX:077-568-3205

ホームページは、[読売センター草津西](#)で検索！ または、今すぐ右のQRコードにアクセス！

SUMAI

スマイ印刷は、
自然環境を守る地球に優しい
製品づくり「エコ印刷」に
取り組んでいます。

株式会社スマイ印刷 sumaiprint.com

本社:520-3014 滋賀県栗東市川辺568-2 p:077-552-1045 f:077-552-0890
東京オフィス:103-0027 東京都中央区日本橋3-2-14 日本橋KNビル4階 p:03-5201-3525
甲賀水口ファクトリーPF1:528-0068 滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘36-6 p:0748-63-1045



よりの道 こ道



「いつもの道、から
一歩それてみる。
大人にこそ寄り道の
時間が必要だ。」

第22回・南草津駅〜木瓜原遺跡へ

石田はま子

一日の乗降客数が草津駅を抜き県内トップとなった南草津駅。朝には立命館大学びわこくさつキャンパス（BK C）の学生でにぎわいます。東口駅前ロータリーにある黄金のモニュメントは日本六玉川で知られた「野路の玉川」を水滴と波で表現しています。十禅寺川の伏流水が玉のように湧出した傍らに萩が咲く様は「萩の玉川」ともいわれ、和歌に詠まれ浮世絵にも描かれました。

玉川や 萩越す波に 月は星の句碑があります。

平成6年に開学したBK Cは南草津駅から3km。国道・旧東海道・バイパスを越え、新幹線・名神の先にキャンパスがあります。開発前の写真では、松下工場（現パナソニック）や桜ヶ丘の住宅地の向こうは広大な丘陵地です。この13,000㎡の土地を発掘調査した結果、7〜8世紀初頭にかけて製鉄・製陶・梵鐘製造まで行っていた古代のコンピナートともいべき総合生産遺跡が発見されました。これが木瓜原遺跡です。

旧東海道のポケットパークや川沿いに萩が見られる由縁です。玉川まちづくりセンターでも萩が咲き、

当時は近くに瀬田国庁もあり、日本の律令国家建設に大きく関与したともいわれます。今

のBK Cの陸上競技場クインスタジアムの地下に長さ約3m、幅約70cmの製鉄炉が保存されています。原料の鉄鉱石は湖西や湖北から運ばれ、近辺の瀬田丘陵の木材を燃料に使用したと考えられています。競技場名となった「クインスタ」とは「木瓜」の意

味で、ここに木瓜の木が多くあったことに由来しています。出土した鉄鉱石・須恵器・土師器・梵鐘製造跡などはBK Cのコアステーションに展示され、模型製のイラストや当時の地層などを見ることができます。

BK Cは県内で初めての理系大学で、初代学長は「古代の最先端の製鉄を行った跡地で、次代を担う若者が理工学を学ぶことに歴史の縁を感じます」とあいさつされました。春になると正門前の16代佐野藤右衛門氏（桜守）が寄贈した枝垂れ萩が咲き誇り、次代を担う若者たちを温かく迎えることでしょう。



ひとりで悩まないで！まずはお電話を！
くらしサポートセンターしが草津がお手伝いします

くらしサポートセンターしが草津
くらし何でも相談
TEL:077-564-5512
 住所：草津市大路1丁目1-1 TEL:932 4F 4 0 6

電話がかかりにくい場合はこちらへ **センターへの相談は無料です**

滋賀県労働者福祉協議会くらしサポートセンターしが内
0120-783-455 (くらし何でも相談専用)

56 株式会社 **三井田商事**

経営理念 迅速・確実・親切

弊社は2019年度からSDGsへの取組をスタートさせ、それを基盤にして社会貢献を通じて地域から愛される企業に成長していきます。清掃活動等で弊社社員は地域の皆様に大きな声で挨拶をします。また、弊社は**56周年**を迎え、改めて今後も永続的に地域の皆様と共に成長していきたいと考えております。

滋賀営業所 / 〒525-0050 滋賀県草津市南草津2丁目7-16
 TEL:077-598-1611 FAX:077-598-1651

長寿の郷ロクハ荘 冬の催し

●手ぶらでお風呂キャンペーン

♪ロクハ公園に来たついでにお風呂でリフレッシュ♪

土日祝 10:00~16:30

大人1人+子ども(中学生まで)1人に
シャンプー・バスタオル・タオルが
ついて500円



●新春子ども昔あそび大会

凧づくり・こま回し・羽根つきなど昔ながらの遊び
を体験しよう

1月10日・24日(日) 11:00~12:00

料金 100円 定員 各10組

●おいしい味噌づくり

2月13日(土) 10:00~12:00

料金 1,600円 定員 10組



●問合せ●

長寿の郷ロクハ荘 ☎563-5021



令和2年度

ひとまちキラリ イキイキ活動賞

授賞団体 決定!

長年コツコツと継続いただいているまちづくり活動に「ありがとう、の気持ちを伝える賞。今年は次の3団体が受賞されました。

●みどり会(笠縫東学区 川原)

幹線道路の計画に対して地域住民の声を届け、完成後は道路愛護活動を行うなど「市民運動から市民活動へ」の転換を図り、行政との協働関係を築いてきた活動



●サプライズ クックス(南笠東学区 笠山)

「男の料理教室」の先駆けとして16年間にわたり活動を継続し、食を通じて地域を盛り上げ、人と人をつないできた活動

●ホッとサロンひだまり(矢倉学区 西矢倉)

地元の高齢者サロンだけでなくスタッフ自身の居場所や住民同士のつながりづくりとして、20年間にわたり継続してきた活動

受賞者には次の市内企業・事業所様からのご寄付による副賞(5万円)が授与されました。

(株)サンアメニティ/ (株)三井田商事/ 読売センター草津西
草津・栗東金融協議会/ (株)スマイ印刷

●問合せ●(公財)草津市コミュニティ事業団 まちづくり振興グループ

草津市西大路町9-6

☎565-0477 ☎562-9340

HP まちサポ <http://kusatsu-spp.net>

たくさんのご応募ありがとうございました。



※ご応募いただいた内容は、プレゼントの発送および今後の誌面づくりに活用し、それ以外の目的で個人情報を使用することはありません。

まち語り 一枚の写真



まちのあらゆる場面で培われてきたコミュニティの形。その一瞬を捉えた一枚の写真から「これから、のコミュニティを見つめます。

新快速電車 登場50周年

今からちょうど50年前の昭和45年(1970)、京都から西明石間に新快速電車が登場しました。その翌年の昭和46年(1971)には草津まで延長され、草津と京阪神方面の往来がよりスピーディなものとなりました。写真は昭和47年(1972)にJR草津駅(当時は国鉄)で行われた、「ブルーライナー」の愛称で知られる新快速の出発の様子です。ブルーライナーはこの年に登場した新快速専用車両で、この後10年ほど沿線の人々に利用されました。新快速はその後も「シティライナー」など、何度か車両を変遷しながら今日まで運行されています。



草津のまちは江戸時代における街道の分岐点を継承するように、明治以降は東海道本線や草津線といった鉄道の分岐点として賑わい、戦後も東海道本線の電化に伴う住宅地の開発により通勤客も増加しました。そのような中での草津における新快速の登場は、これより前に行われた駅舎の橋上化や、京都～草津間の複々線化と相まって、草津の鉄道の利便性をさらに向上させ、京都・大阪のベッドタウンとしてのさらなる人口増加につながり、草津のまちの発展に拍車をかける形となりました。

現在も新快速は多くの市民に利用されるとともに、草津の人口増加とまちの発展は続いています。草津での登場以来、京阪神を通勤・買い物圏内としてこれらの都市を身近なものとした新快速は、今では私たちの生活に欠かせない存在となっています。

見つけてズッキリ!



冬の定番といえば、やっぱり鍋。家族みんなで囲むもよし、ひとり静かにつくつのも良いものです。キムチ鍋、豆乳鍋、ミルクフィュー鍋…最近はバリエーションも豊かで、どんな鍋にしようか悩むのも、また楽しい時間。どうです、今夜は鍋にしませんか。

下のイラストには上のイラストとちがう部分が5か所あります。ちがう部分を答えてね。ひとつは超難問、よ〜くみてネ。

応募方法

ハガキに①答え②住所・氏名・年齢・電話番号③今号の感想を添えて下記まで。FAX、メールでのご応募もお待ちしています。

〆切 **1月4日(月)** 必着

宛先 〒525-0037 草津市西大路町9番6号
 (公財)草津市コミュニティ事業団
 「コミュニティくざつ12月号」係
 ☐ com-com@mx.biwa.ne.jp
 ☎ 562-9340

プレゼント

応募いただいた中から抽選で、niwa+(ニワタス)内の次の5店舗で利用できる優待券(1,000円相当)を5名様にプレゼント。

- ・ブーランジュリーシス
- ・叶匠壽庵
- ・カフェトリ
- ・ミソラテラスイタリー
- ・ア.デベシュ



イラスト：大村恵(編集ボランティア)

草津アマカホール

2021
2/13

おうみ狂言鑑2021新作

いそがばまわれ

おうみ
狂言
鑑
2021

もののふの矢橋の船は速けれど 急がば回れ瀬田の長橋
 こんな近江八景って、あり? 茂山逸平による新作狂言!!

2021年2月13日(土) 14:00開演
入場料 一般 2,000円 青少年(25歳未満) 1,000円

いそがばまわれ

主人が太郎冠者を連れて物見遊山に出かけますが、名所を巡りたい主人と名産を味わいたい太郎冠者の意見に折り合いが付きません。一計を案じた太郎冠者は近江八景を勝手次第に作り変え、主人を案内して何とか名産に有り付こうとするのですが…

問合せ 草津アートセンター(草津クレアホール内) ☎ 561-6100

草津クレアホール

2021
3/13

ゲストに新垣 隆を迎えて

スプリングコンサート

2021年3月13日(土) 14:00開演

出演 稲垣聡&宮本愛子
 新垣隆・辰巳直弘
 草津吹奏楽団金管五重奏・陣内亜紀子
入場料 前売 1,500円 当日 2,000円

プログラム

- ・月の光 / C.ドビュッシー
- ・リベルタンゴ / A.ピアゾラ
- ・アフリカンシンフォニー
- ・彼方の光ほか



熊谷栄三郎の 徒然草津 つれづれくさつ

第38回
日本語、
まだ通じていますか
熊谷栄三郎



最近、身边で何度も見聞したことである。新しい首相である菅義偉という人の名前の読み方が分からないというのである。昔をどうしても「かん」と読んでしまおうとか、義や偉の読み方が分からないとかで、新聞の切り抜きを読んで分かった。「すがよしひで」と読むのだそうである。

日本の国語は不思議である。首相の名前の読み方さえ分からないのだから、いや、首相の場合だけでない。多くの国民の名前が、所見では他人に簡単に読めないだろう。こんな国語を持つ国はほかにあるだろうか。

しかし、最近もつとすごいことが国語の世界を見舞っているように思えてならない。外国語、特に英語の単語の氾濫である。たとえば、テレワークやリモート、サステイナブル、クラスター、オンライン、カスタマーハラスメント、エビデンス、バイアス、クレーム、エコバッグ、ヤングケアラー。ちよつと新聞をめくっただけで、こんな言葉がじゃんじゃん出てくる。

そして、たいいていの外国語には、カッコをつけて日本語の訳が添えられている。パンデミックには「世界的大流行」といった具合。とすれば最初から、その日本語だけで書いてあれば字数も減らせるし、意味も容易にわかるのになあ、と思わぬでもない。

しかし中には、不思議なほど日本語訳が付いていないのがある。「デジタル」という言葉。来年秋には「デジタル庁」が創設されるというのに、意味が分からない。編集者や官僚は適当な訳を思い付かないのだろうか。日本語はまだ通用しているのか、心配になる。

そういえば最近、新聞の投書欄だったか、「GOTOイート」を「食に行こか」と表現したのがあって、感心した。

もう、草津弁が面白いとか、滋賀の方言がどうか言っている時代では無いらしい。

そうそう、暇なうちに「デジタル」という言葉を調べてみるか。

読者の声

たくさんのご意見ありがとうございます。

9/15号「エールでつなぐ未来」に寄せられた感想から

- 以前からフードバンクに興味を持っていたので、何か役に立てるよう寄付できるものがないかを整理してみます。
- コロナの影響で仕事が減り雇止めされた方もいるとニュースで知りました。フードバンクの一人ひとりに寄り添う地道な活動に感銘を受けました。
- フードバンクの一軒ずつ訪問し、「助けてほしい」と声を上げられない人たちに届けてくださっていることに本当にありがたい気持ちでいっぱいです。
- 草津商工会議所青年部の方々の笑顔にこちらも笑顔になり元気をいただきました。
- 結婚して草津市に来て21年。大学生の時に駅前の映画館でバイト。それ以前はあまり馴染みがなかったのが、変わりゆく駅前を今と比べて観察しています。
- 車を持っていないので「より道こ道」は楽しいです。
- 徒然草津の最後のオチに思わず笑ってしまいました。なかなか笑顔になる機会が少なくなったので、笑える時間がうれしかったです。

「コミュニティくさつ」は、みんなでつくるまちづくり情報誌です!

市民編集ボランティア

「コミュニティくさつ」は市民の皆さんと共に作成発行しています。本誌の企画、取材、寄稿、配布などを一緒にしてもらえる市民編集ボランティアを募集しています。写真やイラストが得意な方も大歓迎。

- 編集会議(3か月に1回)で意見を出してくれる人
- 取材同行や寄稿をしてくれる人
- 写真やイラストを提供してくれる人
- 自身のサークルや団体メンバーに本誌を配布してくれる人

● 申込み・問合せ ●
(公財)草津市コミュニティ事業団
コミュニティくさつ編集部(まちづくり振興グループ内)

ポイント

施設を利用するみんなの声と笑顔をお届けします。

もしも、あなたに100万円

アマカホール

まちセン

クレアホール

ロクハ荘

ロクハ公園

2020 Dec 126号

編集 公益財団法人草津市コミュニティ事業団
〒525-0037 滋賀県草津市西大路町9番6号(まちづくりセンター内)
発行 077-565-0477 077-562-9340
http://kusatsu.or.jp

管理 草津市コミュニティ事業団
施設 草津市コミュニティセンター
長寿の郷ロクハ荘

562-9240 / 564-5815 / 563-5021

ロクハ公園(草津市公園事務所) 564-3838
草津ファミカホール 561-2345

【題字】中村明雄 【印刷】株式会社アライ印刷